

教育相談に関する校内研修II

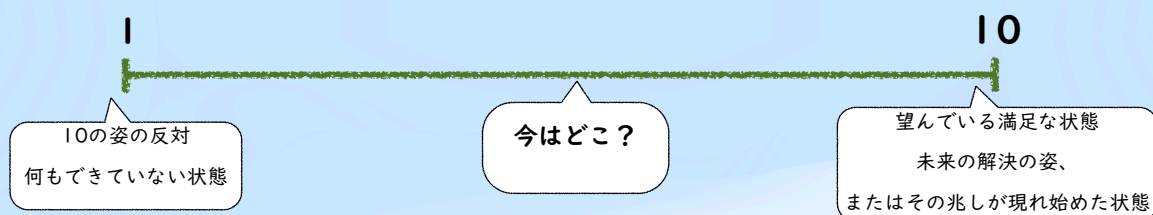
思いを受け止め、思いを引き出す教育相談のために
～さがえっこはぐくみサロンに向けて～

2025.7.8 県教育センター長期研修生 笹原祥子

今日の予定

- はじめに ○今日の研修が終わったら…？
- ・スケーリングクエスチョン
- はじめよう、教育相談
- ・目標づくりの3条件
 - ・キーワードは「つながる」「引き出す」「つなげる」
- ロールプレイング演習

★研修が終わったら…

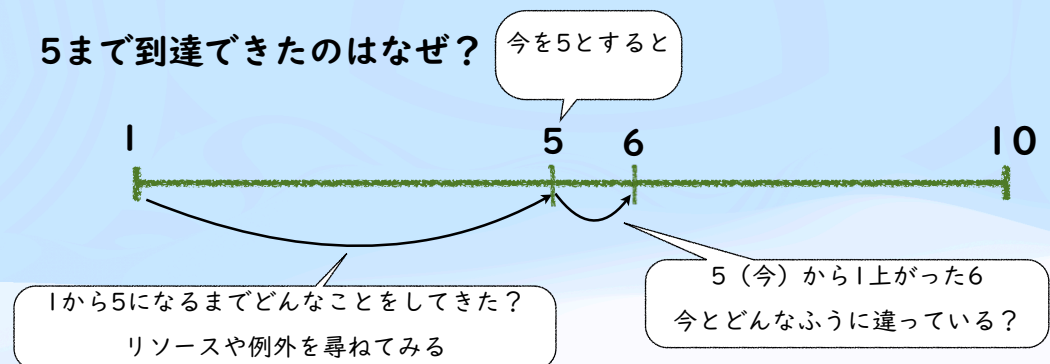


今の状態は（ ）で、研修会の後には1上がった状態（ ）

スケーリングクエスチョン：最初の一步を話し合うために有効

スケーリングクエスチョン

5まで到達できたのはなぜ？



いきなり10にたどり着くことを考えるのではなく、
今より1上がった状態＝「今より少し良い」状態を考える

目標づくりの3条件

- ①大きなものでなく、小さなものであること
- ②抽象的なものでなく、具体的な行動で表現できること
- ③否定形（～しない）ではなく、肯定形（～をする、～を始める）で表現できる行動

★本人にとって、役立つものと思えるものであること

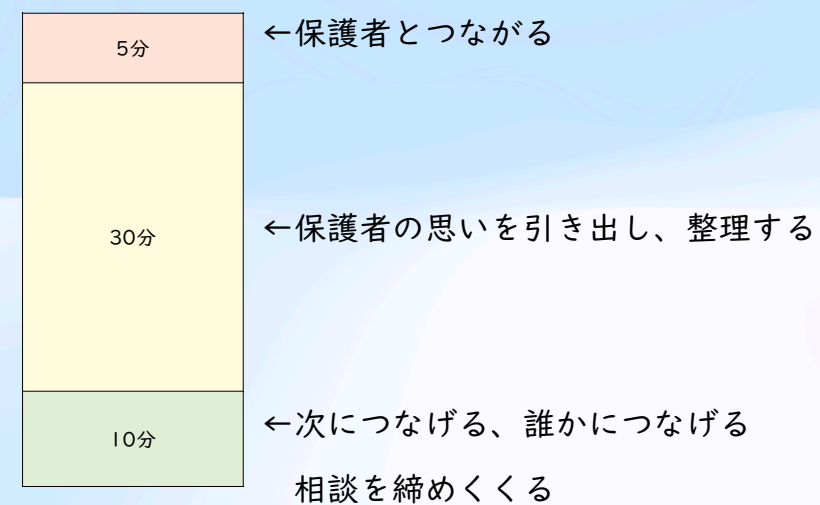
はじめよう、教育相談！

キーワードは「つながる」「引き出す」「つなげる」

- ①保護者をつなげる：子供のより良い姿の実現に向けて、
学校と保護者が一丸となる段階
★非言語コミュニケーション、コンプリメント
- ②保護者の思いを引き出し、整理する
：いろいろな観点から子どもについて語り合う
★解決志向アプローチ
- ③次につなげる、誰かにつなげる
：学校全体で、必要ならば他機関も巻き込んで
「チーム学校」の姿勢で！

キーワードは「つながる」「引き出す」「つなげる」

例：45分間の相談の場合（今回のように1回で終了の場合）



※時間配分は目安

キーワードは「つながる」「引き出す」「つなげる」

複数回の相談の計画が立っている場合

初回～数回目

5分
保護者につながる
35分
保護者の思いを引き出し、 整理する
5分
次回の約束をする

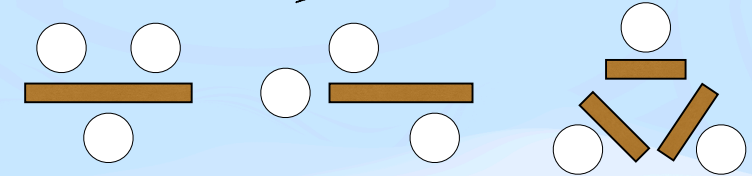
最終回

5分
保護者につながる
10分
保護者の思いを引き出し、 整理する
30分
必要に応じて誰かにつなげる 相談を締めくくる

※時間配分は目安

①保護者につながる

事前に
5分
30分
10分



- ・正面から向き合うと緊張してしまうことも。
- ・対応者2名のうちの1名がメモを取りながら話を聞いてもよい。対応しながらメモを取りたい時は、「出てきた大切な情報を忘れないように、メモを取ってもいいでしょうか。」と許可をとる。

①保護者につながる

話を聞くための環境を整える

事前に
5分
30分
10分

✓	チェック項目
	静音は保たれていますか？
	室温は快適ですか？
	時計はお互いから見える位置に置かれていますか？
	人の出入りがなく、プライバシーが保たれていますか？
	必要な資料やメモ用紙は手元にありますか？
	相手に失礼のないよう身だしなみを整えていますか？
	周囲に不必要なものは置かれていませんか？（他児の個人情報も）

①保護者につながる

5分
30分
10分

★非言語コミュニケーション

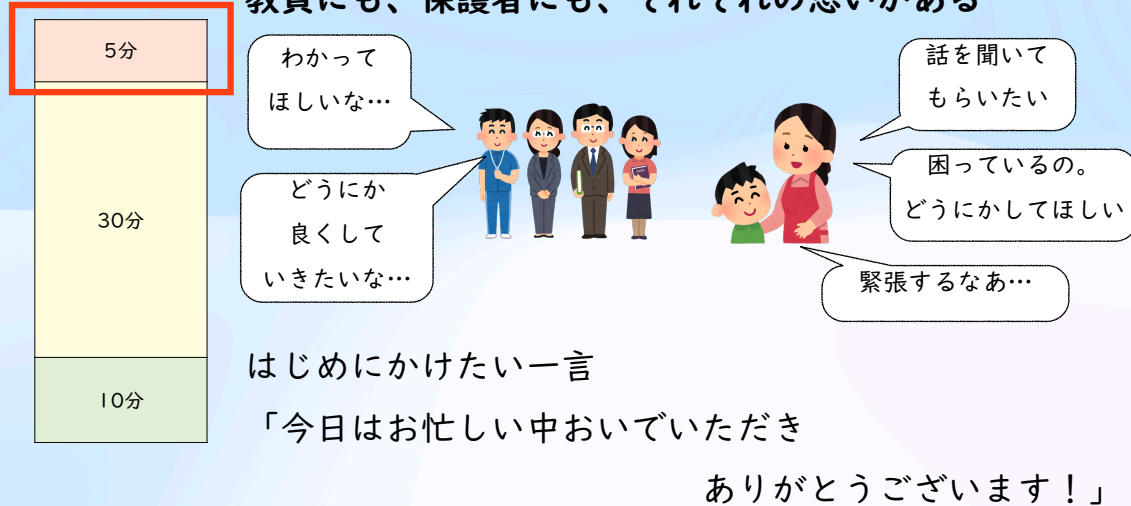
積極的傾聴、「共感して聴いている」を伝えながら

★コンプリメント

学校の中で見られる子どもの良い姿を担任外の教員が伝えることが、「学校全体でお子さんを見ているよ」というメッセージとなる
肯定的な話から関わりを始めるのが望ましい。

①保護者とつながる

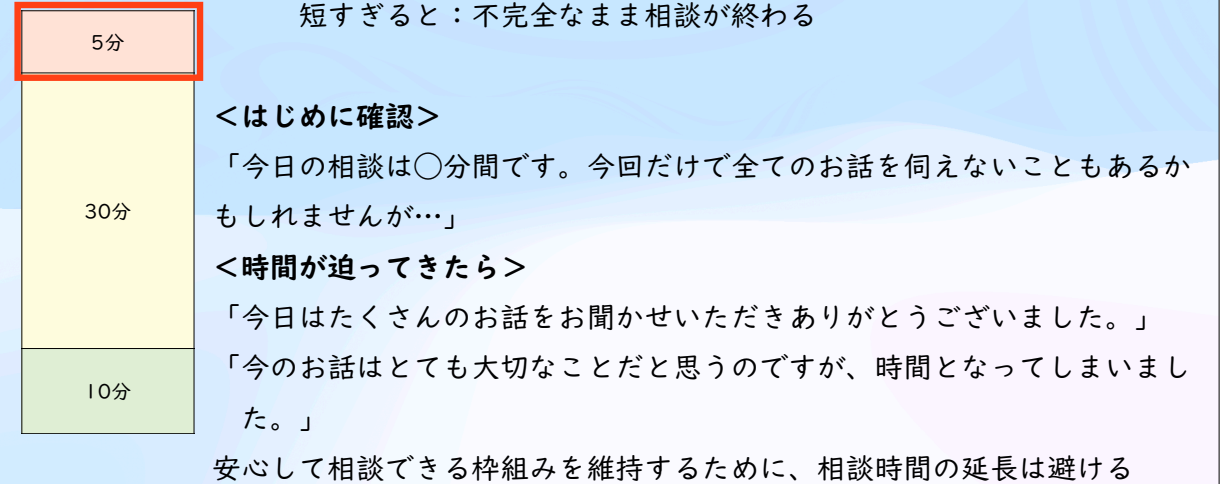
教員にも、保護者にも、それぞれの思いがある



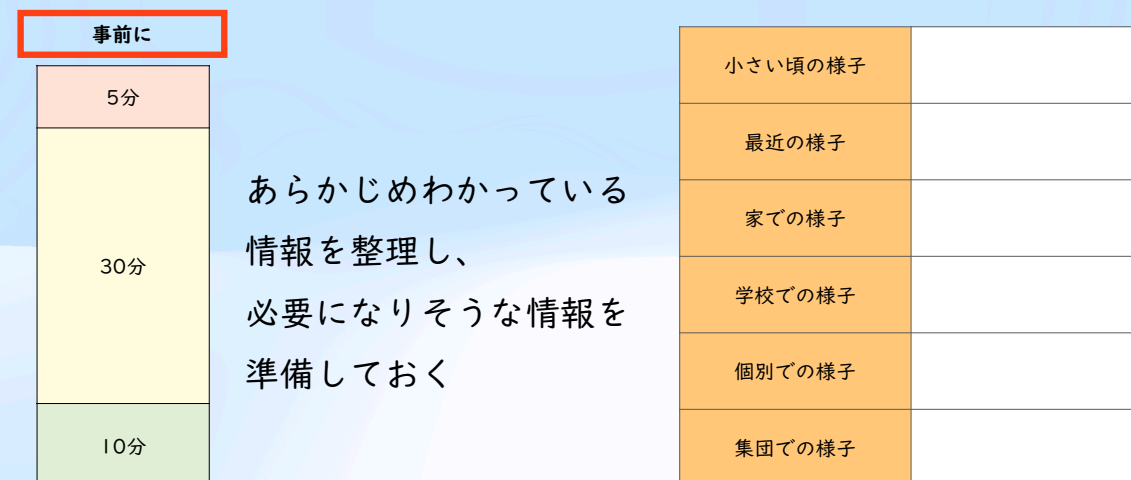
①保護者とつながる

時間が長すぎると：出口が見えなくなったり、間延びしたり

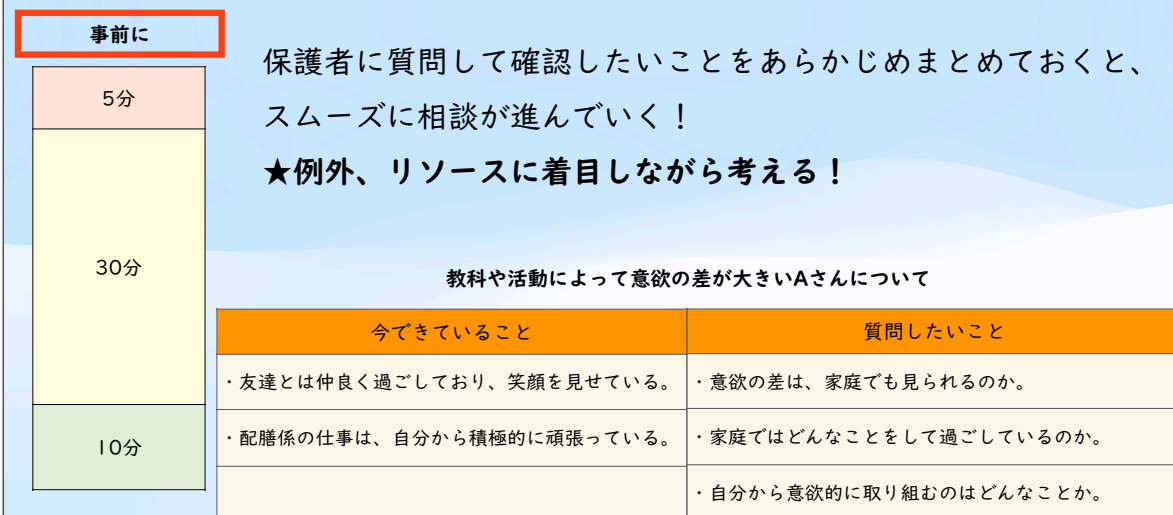
短すぎると：不完全なまま相談が終わる



②保護者の思いを引き出し、整理する

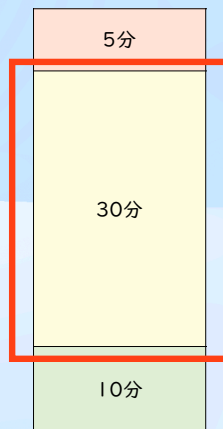


②保護者の思いを引き出し、整理する



②保護者の思いを引き出し、整理する

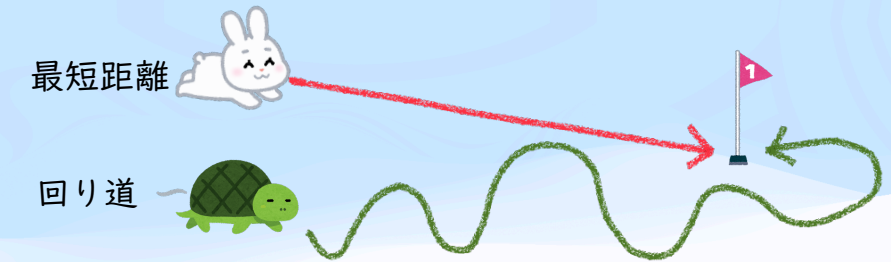
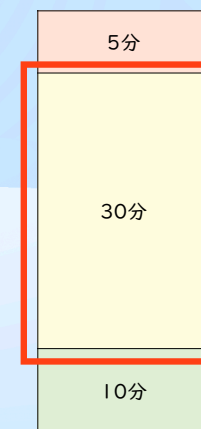
目標・ゴールを確認、共有する



○今回は相談内容をあらかじめ聞いているので、解決志向アプローチの考え方で話をすすめていく。

★相談が進むペースは人それぞれ。必ずしもこちらが想定している（望んでいる）通りに進むとは限らない。
保護者相談に「正解」はない！

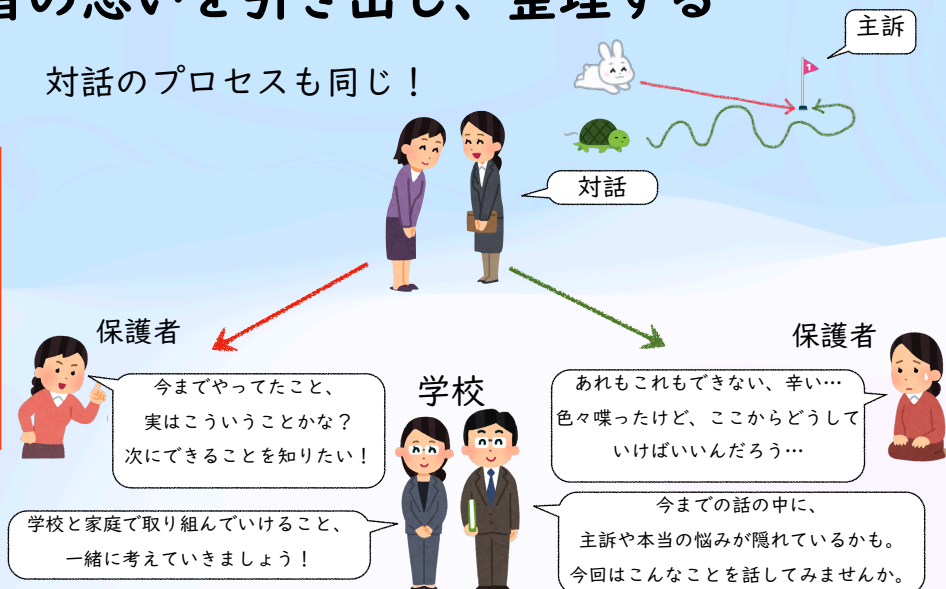
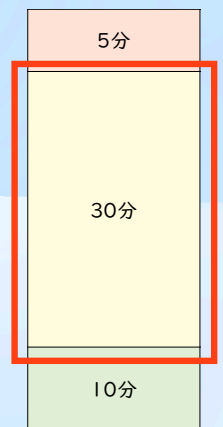
②保護者の思いを引き出し、整理する



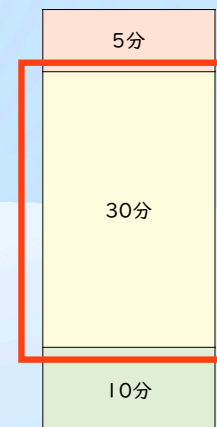
★目標・ゴールを確認、共有する
最短距離と回り道、それぞれに良さがある
遠回りに見えても、着実にゴールに近付いている

②保護者の思いを引き出し、整理する

対話のプロセスも同じ！

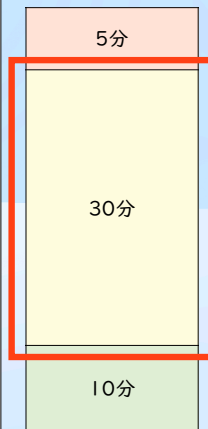


②保護者の思いを引き出し、整理する



「よりよい方向」の例
問題が解決する
別の課題が見つかる
新しいアイデアが浮かぶ
短期的な目標を共有する
それぞれの役割を分担する
しばらくやってみることが見つかる
次に繋げる機関が見つかる

②保護者の思いを引き出し、整理する



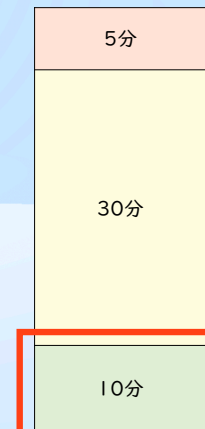
- ・「どうしてだろう？」の視点：例外探し、実態の背景
- ・変えられないことにはこだわらない
- ・できていることの中からヒントを探す：リソース・例外

解決志向アプローチの視点で質問していく

☆必要な情報をまんべんなく集められるように

→子どもとその保護者にとって無理のない目標、手立てが見えてくる！

③次につなげる、誰かにつなげる



相談の着地点は、教師が提示しなければいけない…

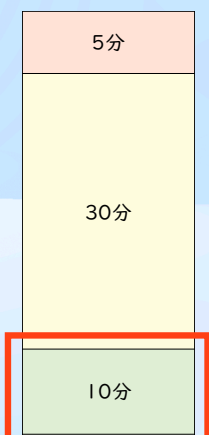
わけではない！

保護者からの気づき、提案もあるかもしれない

- ・学校では〇〇、お家では～～に取り組んでみましょうか
- ・〇日から～くらいまで、△△を試してみるのはいかがでしょうか
- ・もう少し、今のままで様子を見ていくことにしましょう

その場では言い切れない、答えきれないときは？

③次につなげる、誰かにつなげる



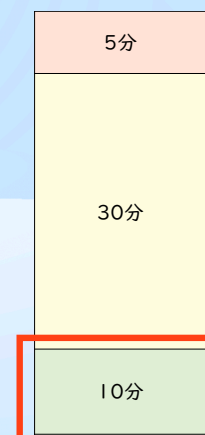
「今回の〇〇については、一度持ち帰って学校で検討させていただいてよろしいでしょうか？」

その場で苦し紛れに答えるより、後からしっかり確実な答えを。
複数の目で見えて考えることで、新しい考えが生まれるかも！

「チーム学校」：同僚の良さを活かしていく

1人で抱え込まないで、全員で考えていく姿勢が大切！

③次につなげる、誰かにつなげる



他機関へとつなげる時

本人、保護者にとっての必要性を考える

教員の思いが先走ってはいけない

★私たちは医療者ではないので診断はできない

「〇〇かもしれない、病院に行ってみては？」 ←✗

（例）小学部男子Aさん

事例：自分勝手な言動が目立つ。休み時間に友達とよくトラブルになっている。担任から見ると、Aさんが遊びのルールや勝敗を勝手に変えてしまうことがきっかけのように感じる。

つながる：他人の意見を聞かない、自分が勝つために勝手にルールを変える、友達を言いなりにしようとするなどの言動は、「自分勝手」と捉えられがちだが、その言動の理由を探っていくことから始める。本児は、障がい特性による感情コントロールや他者の感情の推測に難しさがある。保護者や教師が期待することは、本児にとって無理がないか。何らかの不安や恐れ、自尊心の低さなど情緒面で課題はないか。これまでの関わりの中で、比較されることや叱責される経験は多かったか。

引き出す：・「自分勝手な」と思われる言動は、家でも見られますか？
・そのような言動が見られるときは、どのような活動・時間帯が多いでしょうか？
・そのような行動が見られないときは、どのような活動・時間帯でしょうか？
・大人、子どもとの関わりに特徴はありますか？（年齢層、性別、立場…）

つなげる：問題が生じる時と例外の状況について考え、集団の中でどう過ごしていくかの目標を共有。そのためにどうしていくか。いつまでどんなことに取り組んでみるか。

「つながる」「引き出す」「つなげる」
3つの視点で相談を考えていきましょう！

★ロールプレイ演習

★ロールプレイ演習



ロールプレイによるメリット

- ・相手の考えや感情の動きを捉えることの難しさを理解できる
- ・傾聴と共感の重要性を理解できる
- ・適切な質問の重要性を理解できる
- ・やりとりを通して状況が変化することを体験的に理解できる

★ロールプレイ演習



ロールプレイの注意点

- ・ロールプレイは高い評価を得ることが目的ではない。
フィードバックを評価と間違えない！
- ・ポジティブな視点で取り組む
「こうしたらもっと良くなる！」

★ロールプレイ演習



教師役

- ・実際の相談場面をイメージしながら行うこと。
実践的なスキルの獲得のために、保護者役を本物の保護者として対応する。
- ・演習時間は13分間です。
限られた時間の中で「引き出す」「つなげる」の段階まで進めるように、今回は「つながる」に時間をかけすぎないようにしてみましょう。

★ロールプレイ演習



保護者役

- ・実際に対象となる保護者を演じてください。ワークシートに書いてある情報以外（家庭での様子、小さい頃から今までなど）は、アドリブで構いません。
- ・ロールプレイ終了後、フィードバックの最後に、教師の対応の仕方などについて保護者の立場から感想を述べてください。

★ロールプレイ演習



観察者役

- ・観察者役の方は、右のシートに教師役の様子について記録してください。
例：・「〇〇したんですね。」と保護者の言葉を繰り返していた。
- ・保護者が話し終わるまで、ゆっくり頷きながら聴いていた。
- ・「〇〇できているのはどんな時ですか。」と質問していた。

ロールプレイ振り返りシート

()チーム 教師役: 観察者役:
教師役: 保護者役:
観察者役:

相談キーワード	教師役の様子、態度、会話や質問など 観察者から見て印象に残ったこと
保護者をつなげる	
保護者の思いを引き出し、整理する	
次につなげる、確かにつなげる	

保護者役として、今日の教師役との対話はいかがでしたか。
良かった点、印象に残った点、もっと改善できる点など、なんでも教えてください。

★ロールプレイ演習

○：非言語コミュニケーション

◎：解決志向アプローチ
(例外、リソース…)

印をつけて、価値付けしていきましょう！

例：○「○○したんですね。」と保護者の言葉を繰り返していた。
○保護者が話し終わるまで、ゆっくり頷きながら聴いていた。
◎「○○できているのはどんな時ですか。」と質問していた。

★ロールプレイ演習

①2人ペア×2組を1チームとします。

チームごとに3教室に分かれてロールプレイを実施します。

グループ分け表を見て、自分の役割を確認してください。

②実演は13分間です。着席した状態からスタートしてください。

その後5分間で観察者、保護者役からフィードバックを受けてください。

終了後は、教師役のグループを入れ替えて実施してください。

教室移動がある先生は、ご移動をお願いします。

★演習終了後、それぞれの教室で情報共有と振り返りをしてください。

★非言語コミュニケーション

★解決志向アプローチ

★「つながる」「引き出す」「つなげる」の視点

意識しながらできましたか？